

2026年3月期
第2四半期決算説明会資料

2025年11月17日(決算説明会は11月20日開催予定)
株式会社Smile Holdings
証券コード:7084

Smile Holdings



写真:2025年12月1日にオープンするキッズガーデンプレップ
スクール麻布台ヒルズ

キッズガーデンプレップスクール麻布台ヒルズがグランドオープン！



- 12月1日に、プレミアム教育の新たなフラッグシップとして、「キッズガーデン プレップスクール麻布台ヒルズ(プレミアムスクール)」と「キッズガーデン エデュケーションラボ麻布台ヒルズ(アフタースクール)」を開園いたします。



- 「0歳から9歳のチテキソウゾウの全部を」をキーコンセプトに、一人ひとりに寄り添い、教育の多様な選択肢をお届けすることで、お子さまの将来の可能性を広げ、才能をひらくお手伝いをいたします。



語学学校ハワイパームスイングリッシュスクールと 業務提携契約締結！



2025年11月1日にハワイパームスイングリッシュスクール(本校:米国ハワイ州)との業務提携契約を締結いたしました。

- 当社グループは国際教育領域の一環として、2024年夏より海外留学支援に取り組んでおります。今夏は英国、スイス、ハワイ(米国)の3カ国で開催し、ハワイ(米国)におけるプログラムをハワイパームスイングリッシュスクールと共同で実施致しました。
- この度、当社グループが有する保育サービスの専門性と、同校が有する語学教育の専門性を相互活用することにより、両者の米国市場における事業を拡大することを目的として、業務提携契約を締結することになりました。
- 具体的な施策としては、当社グループのプレミアムスクールと連携した日本国内におけるサービス開発、同校のホームページ改修及びSEO最適化、当社グループの建築デザインノウハウを活用した同校校舎の改修等や、同校が提供するサービスの商品価値を高める一切の施策を計画しております。



新規事業:建築デザイン事業(ファミリーサポート領域)の売上計上開始

- 中期経営計画2025でお伝えしたとおり、80園以上の保育園を作り、「使い続けてきた」経験との双方を活かしつつ、建築デザインを通じて家族が集う空間づくりへの取り組みを拡充し、家族と個人の幸せが寄り添う空間を実現するプロジェクトに取り組んでおります。
- 第2四半期においては、クリニック、薬局等にて建築デザインサービスの提供が完了し、売上を計上いたしました。

実績のご紹介

●Akira International Clinic

お客様:医療法人Taak 住所:東京都港区西麻布



●ぞうさん薬局

お客様:日本機材販売会社 住所:神奈川県相模原市



売上高

69.5億円

5.6億円増、108.9%
前年同期比

EBITDA

6.7億円

1.5億円増、129.1%
前年同期比

営業利益

3.1億円

1.7億円増、219.3%
前年同期比

当期純利益

2.1億円

1.1億円増、220.2%
前年同期比

運営施設数

81施設

前年同期比+2施設

※2024年10月1日よりグローバルスクール吉祥寺開園
※2025年4月1日よりグローバルスクールセンター北開園

児童数

5,343人

100.3%
前年同期比

過去最高業績の更新を継続しながら、事業領域拡大も積極推進中

業績

- 売上高は、第2四半期として過去最高
- EBITDA(営業利益+減価償却費)も、第2四半期として過去最高
- 営業利益も、第2四半期として過去最高
- 売上高、EBITDA、営業利益の主要3経営指標が引き続き上場来過去最高を更新中

新園・新規事業

- 12月1日、キッズガーデンプレップスクール麻布台ヒルズが開園
- 語学学校ハワイパームスイングリッシュスクールと業務提携契約を締結。海外留学支援事業を強化
- 新規事業である建築デザイン事業の売上計上を開始。クリニック、薬局に対してサービス提供完了

2026年3月期 第2四半期決算ハイライト

Smile Holdings

既存事業好調および新規事業の順調な立ち上がりにより、営業利益・経常利益・

当期純利益のすべてが大幅進捗

認可保育園については引き続き保育サービスの充実により園児数が堅調に推移し高い充足率を維持。認可外保育園についても、引き続き高いサービス水準を維持しながら、アフタースクールの早期募集開始や各園における見学会の充実等の施策が奏功し契約児童数が堅調に推移

(百万円)	2025年3月期2Q(前期)	2026年3月期2Q(当期)	増加額	前年比
売上高	6,383	6,951	567	108.9%
EBITDA	524	677	152	129.1%
営業利益	142	312	170	219.3%
経常利益	134	310	176	231.3%
当期純利益	97	214	117	220.2%
児童数(人)	5,327	5,343	16	100.3%

2026年3月期 第2四半期決算ハイライト

Smile Holdings

認可保育Gならびに、新規事業の順調な立ち上がりが全体の業績を牽引

積極投資を継続しながらも、年度予算超過ペースで進捗中

既存事業である認可保育Gが売上を牽引しつつも、新規事業である海外留学支援(国際教育領域)と建築デザイン(ファミリーサポート領域)からの売上が貢献。事業拡大速度を加速させるためにも、引き続き積極投資を計画

事業拡大速度を加速させるためにも、引き続き積極投資を計画

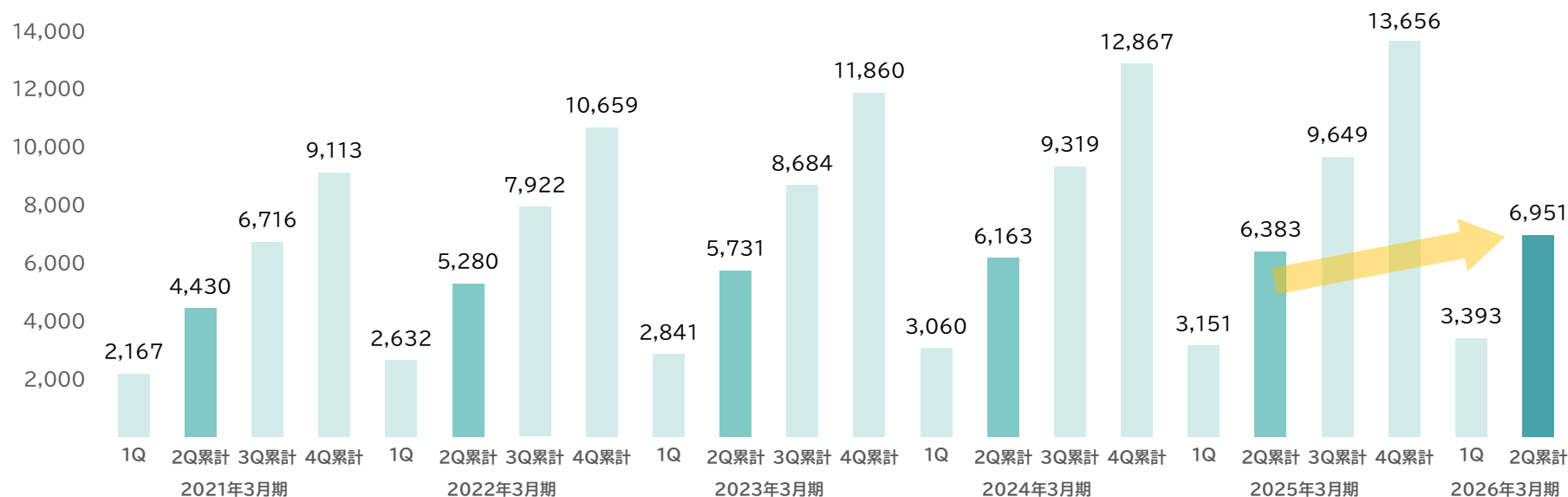
(百万円)	2026年3月期 通期予想		2026年3月期2Q 実績	進捗率	
売上高	13,800		6,951	50.4%	
	国内教育領域	認可保育グループ	11,800	5,915	50.1%
		プレミアム教育グループ	1,700	814	47.9%
	国際教育領域		200	156	78.0%
	産後ケア領域		0	0	-
	ファミリーサポート領域		100	64	64.0%
EBITDA	1,050		677	64.5%	
営業利益	350		312	89.1%	
経常利益	370		310	83.8%	
当期純利益	250		214	85.6%	

2026年3月期 第2四半期決算 売上高の推移

Smile Holdings

第2四半期として**過去最高更新**。上場以来連続的成長を実現

(百万円)



過去
最高

6,951 百万円

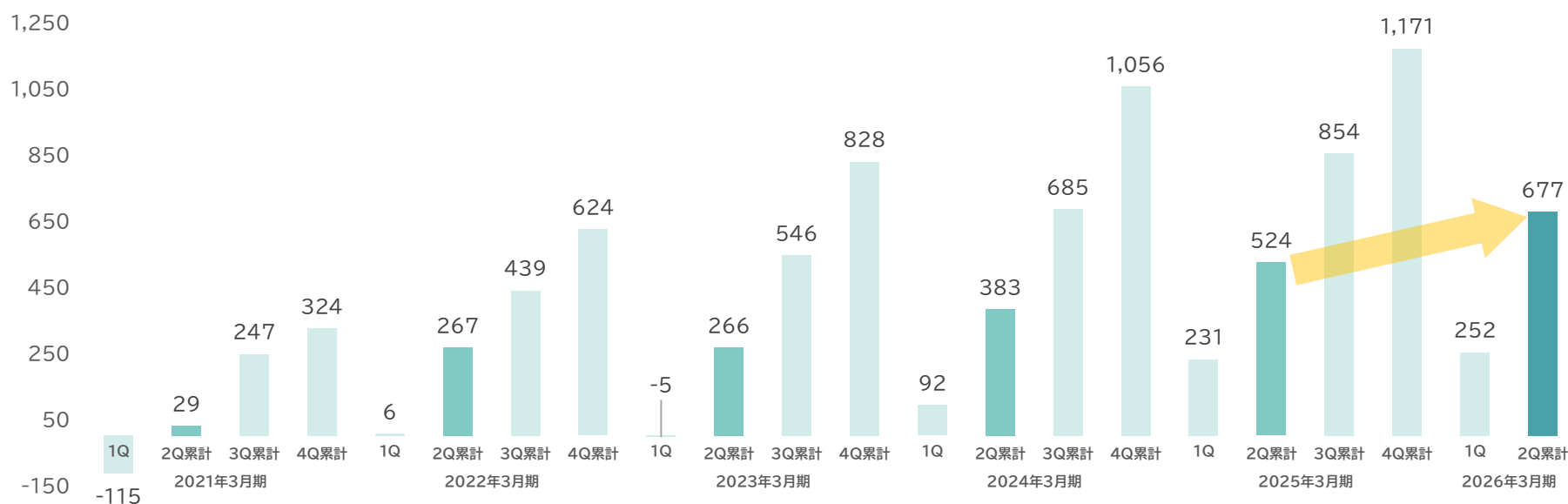
前年同期比 +567百万円(108.9%)

2026年3月期 第2四半期決算 EBITDAの推移

Smile Holdings

第2四半期として**過去最高更新**。上場以来連続的成長を実現

(百万円)



過去
最高

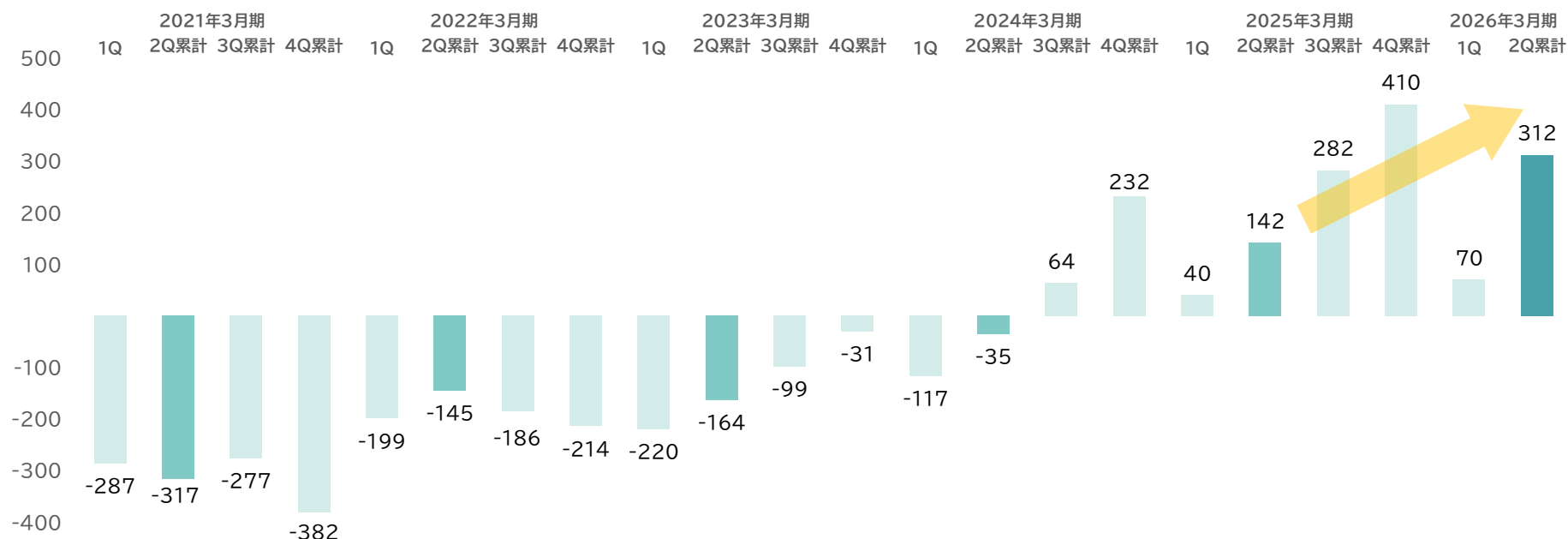
677 百万円

前年同期比 +152百万円(129.1%)

第2四半期として過去最高更新。

前期に引き続き、第1四半期より黒字化達成後、力強い成長基調を維持

(百万円)



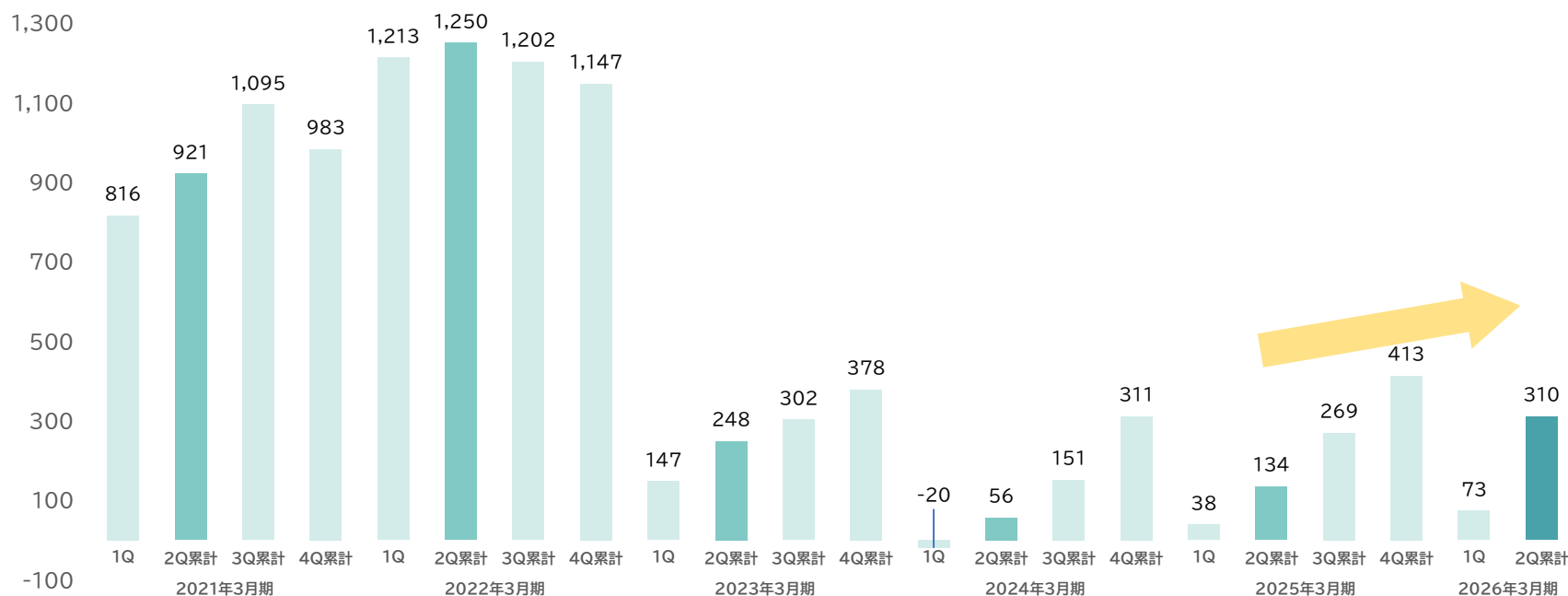
過去
最高

312 百万円

前年同期比 +170百万円(219.3%)

認可施設開設補助金の減少にも関わらず利益増加傾向

(百万円)



参考:認可施設開設補助金(営業外収益)の推移

2021年3月期(通期):1,391百万円

2022年3月期(通期):1,418百万円

2023年3月期(通期):419百万円

2024年3月期(通期):100百万円

2025年3月期(通期): 0百万円

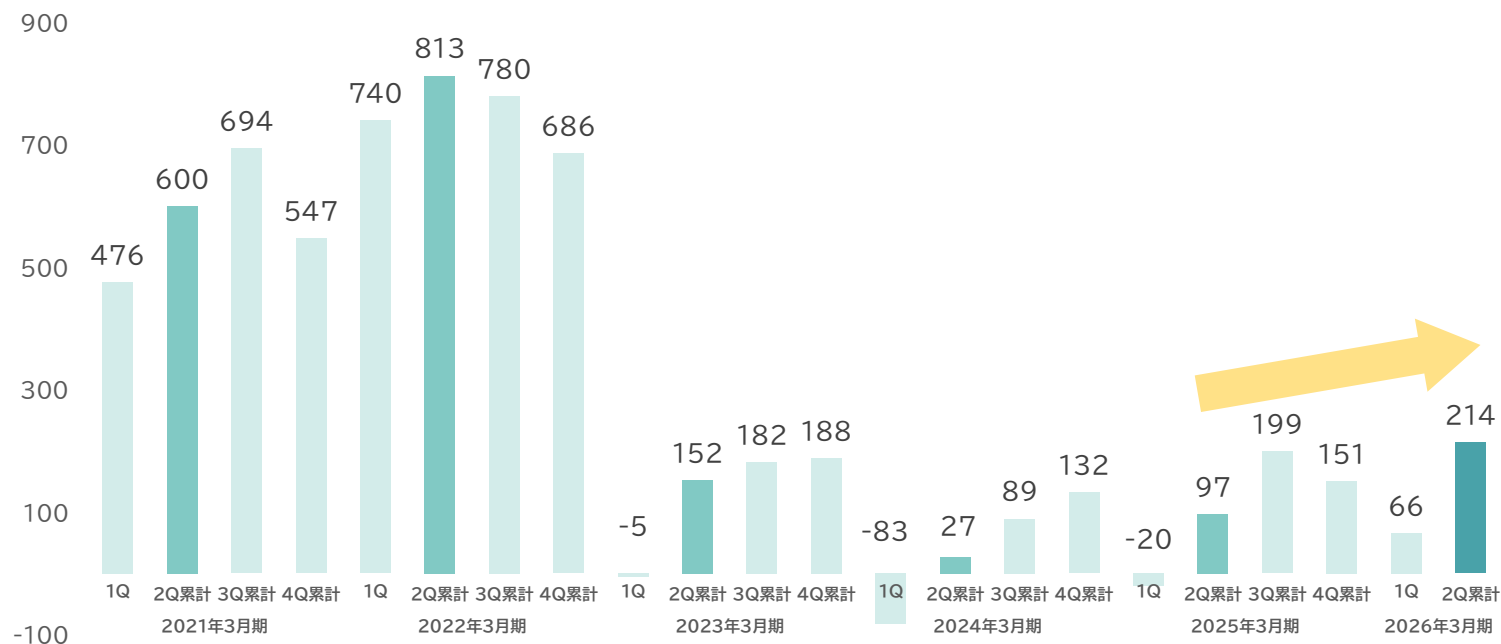
2026年3月期(2Q): 0百万円

310百万円

前年同期比 +176百万円(231.3%)

認可施設開設補助金の減少にも関わらず、第1四半期から黒字を達成したあとも利益増加傾向

(百万円)



214百万円

前年同期比 +117百万円(220.2%)

高い財務安全性を継続

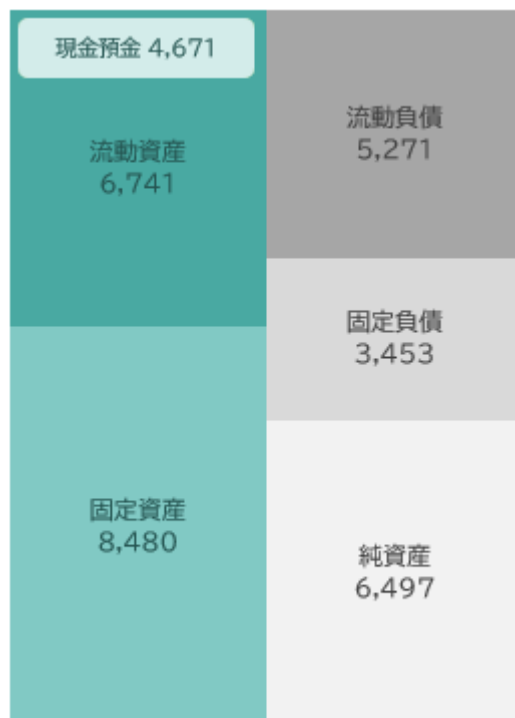
2025年3月末

総資産15,222百万円

自己資本比率42.7%

有利子負債比率70.6%

(百万円)



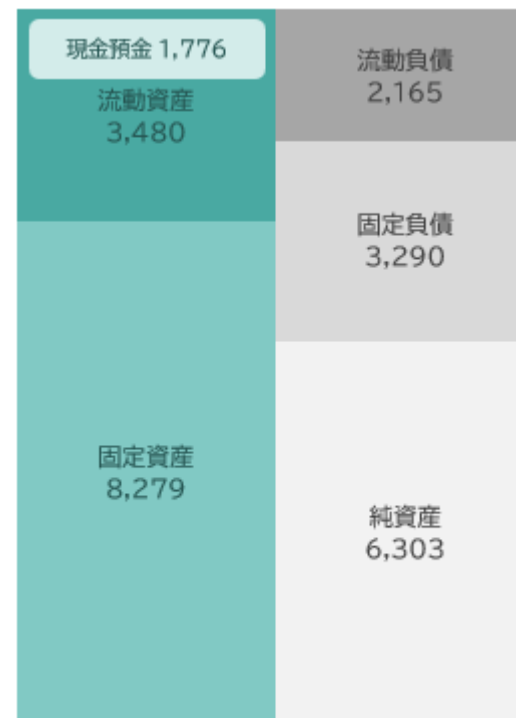
2025年9月末

総資産11,759百万円

自己資本比率53.6%

有利子負債比率36.3%

(百万円)



※有利子負債比率 = (有利子負債 ÷ 純資産) × 100